

議題：大田区立道塚小学校 第4回学校運営協議会

日時：2022年12月10日（土）11:00-12:00

場所：道塚小学校 2階 家庭科室

出席

（委員）

河合会長、横山委員、加藤委員、花島委員、岩井委員

鶴岡委員、野崎委員、多田委員、瀬尾委員、宮城委員

梨本委員、安田委員、須田委員、細川委員（記）

（学校）

大場校長、藤田副校長

宮原先生、中吉先生、浅川先生、原先生

清水先生、中島先生、渡邊先生

議事内容：

◆報告事項

①3学期の学校行事について（藤田副校長）

→展覧会・学校公開を1月28日（土曜）2-3校時に予定している

→卒業式は3月23日（木曜）を予定している

→通常形に戻し協議会委員、自治会長を呼びたいと考えている

→5年生の出席をどうするか検討中

②研修会の報告について（河合会長）

→11月29日（火曜）横浜市立東山田中学校の協議会を視察してきた

→詳細は資料（議事録）を参照のこと

→やっていることは我々とかかわらないが、学校内容について先生・職員がきて深く説明していることが印象に残った

→コミュニティハウスが学校にある、常時、運営委員やコーディネーターほか地域の方がきているとのこと

→コミュニティハウスとは、学校に公民館がついているような感じ

→運営委員・コーディネーターが発足から17年ぐらいつと関わっていて人がしっかりしていることは大きい

→道塚小は発足したところだけど、短期に加え中長期考えながら一歩ずつ進んでいけばよいと思う

→参加した委員から

→予算の議論をやっていた、オープンな感じがしてよい

→やり方は参考にして道塚小としてすすめていけばよい

→コミュニティカレンダーや地域マップというのを作っていた地域と関わりながらやっている感じがする

→先生方の声が運営にいかされているのがよい

→先生の生の声が聞けてよい、道塚小でもやっていきたい

→地域で子どもを育てるのは道塚小でも20年はやっている

→道塚小としてすすめていくのがよい

→地域の方と知恵を出し合ってすすめていけばよい

→道塚小の事務予算について（大場校長）

→消耗品費、備品費、図書費、工事費など学校で予算立てる

→児童数あたりで予算化されている

→大田区コミュニティスクールには、意見書をまとめてだす権限はある

→意見をあげることは大事と考える

◆提案事項

③今年度の学校評価について（大場校長）

→先生方の意見を名前つきでまとめたものを資料として配布している

→できているところ、できていないところもある

→本日は議論しない、学校評価資料を持ち帰り、1月の協議会の時に委員から

意見をいただくので、よろしくお願いします

→今年度いくつかできている（良い）ところの話

(1)早寝・早起き・朝ごはん、できたら○をつける取組している

→令和2年1学期69.1%から令和4年2学期77.4%にあがった

(2)読書、10月は一人10冊ぐらい読んだ、本が好きは84.9%あった

→12月15-23で冬休み期間の本の貸出し3冊を実施予定

→個人的に借りたい人には+2冊を試験的に貸し出す

(3)カムカム新蒲田、親子でクリスマスツリーを作る

→子どもたちが施設にお母さんを連れて行っている

→道塚まつりが提案、小学校と地域施設がコラボした好例として地域振興課でプレスリリースする

(4)研究発表会があり、初等教育資料の写真ページに道塚小がのることになった

→研究発表が全国に広まる

→6年生、藍染を展覧会の時に販売する

→QRコードとか販売方法も考えている

→研究発表だけでなく、地域/全国へのアピール、来年度へつなげていく

④先生方の困りごとについて、いくつか意見でできた（大場校長）

(1)校庭開放の調整

→毎月土曜日の午後に校庭開放を実施している

→チーム道塚としてボランティアがかかわってくれている

→昨年まで、野球とサッカーが校庭を使用している

→校庭開放のため野球が週一回できなくなった、調整してから決めるのがよかった

→来年度は、月一回土曜日の午前中を校庭開放としたい

→今年度中に来年度の方針を調整会で説明していただければよいと思う

(2)朝遊び、8:00-8:20の見守りに去年まで母さんのボランティアをお願いしていた

→今年は朝遊びをとりやめ、15:00-15:40放課後校庭開放を行った

→朝遊びを火・木・金曜でやりたい、見守りは1回2人ぐらい、

地域の方がみてくれるとありがたい

→自治会で検討してみる

(3)教室に入れない子への対応

→教室に入れない・気分がのらない子は、サポートルームで面倒みている

→子どもたちを集めて、自分たちでやることのメニューをきめてやる

→付き添いに元先生・元学童を募集している

→9:00-14:00ぐらいで2人~4,5人いればよい

→大田区で成功例がいくつかある

→基本は子どもたちにまかせる、付き添いは危険な時に止められる人であれば元先生でなくてよい

→教室に入れない子を、不登校にはしたくない、なんとかしたい

→家にこもるのはこわい、小学校時代に学校に行く・人と関わることは必要

→ボランティアでなく、給料を払ってやるような話だと考える

→教育予算をどこにつけるか、教育委員会・区議に考えてほしい

→協議会で議論して、意見具申していくことも必要である

(4) 外国籍で、日本語がわからない子への対応

→日常会話はできる、ひらがなでできるが漢字がわからないなど受験できるレベルでない

→河合会長に相談したところ、ボランティアで日本語を教えてくれるところがある

→国際都市おおた教会など50団体ぐらい日本語教えるところはある

→基本、大人に教えるところで学習を教えるところは少ない

→子どもたちに寄り添ってくれる大人が欲しい

(5)展覧会への地域からの展示への対応

→河合会長・大場校長で自治会に頼み・話に行った

→自治会で搬入・搬出および展示品の管理をやっていくという話になった

→自治会にはいってない人でPTAとして出している人がいた

→PTAは自治会として展示するようお願いした

(6)土曜講座、土曜ワークショップについて

- 5 講座（登録制 3、だれでも 2）、講座によって人数にばらつきがある
- 日本の踊りは人気、発表の場があり子どものモチベーションになっている
- ChromeBook 体験
- 学習会、今年は 2 人ぐらい、コロナと補習教室が充実してきており
学習会としてのニーズが少なくなってきたか？
- 20 年やりつづけている中で、ニーズとずれてきているのではないか？
- 運営にはスクールサポートが付き合う必要がある
- スクールサポートの中で議論、放課後教室とコラボするとかの案がある
- 夏休みワクワクの人気講座をやるなど、時代の変化にあわせて見直しは必要

(7)防災について

- 学校避難所運営協議会などに中高校生を入れたいと考えている
- 自治会/区の人だけでは運営に無理があり、若い人の力が必要
- 中高生と防災をテーマにした話がしたい

(8)同窓会のタイムカプセルについて

- 6 年生卒業の時にタイムカプセルに入れ、成人式の日引き渡している
- 成人式がコロナ影響で、午前・午後の式典になった（道塚小は主に午後）
- 2023 年 1 月 9 日（月曜）16:30～で引き渡し会をやる予定
- 元校長・副校長・担任には学校から連絡してもらっている
- 18 才成人となり大田区では成人式をどうしていくのか？
- 成人式が 18～20 才でやることになったら臨機応変に対応する

◆熟議

⑤校務分掌主任との交流

（主旨：大場校長）

- 先生方に学校運営協議会 委員の方々とコミュニケーションしてもらい
委員は味方であることを理解してもらいたい
- 年間 6 回行うことになっており、令和 5 年度はいつどのようにやれば
良いか議論して欲しい

（意見・案）

- 6 回実施として、3 回は土曜日、3 回は夏休みなど長期休みの間に実施
- 土曜日は、朝活をやめるとかして 15 分時間を確保する
- 特別時程がながてな子どもがいる、大人の都合で時間を変えるのは
子どものためではなく特別時程にはしたくない
- 土曜日だけでなく水曜日に実施
- 協議内容にもよる、防災など授業後でないと話せないものもある
- 土曜日（もしくは水曜日）として出席する先生は時間外を認めてもらう
- 新しい試みをやっていく中で古いものはやめる必要がある
- 超過勤務を認めるよう教育委員会に意見具申することも必要
- 道塚小はモデル校であり、議論しておく必要がある

以 上

次回：2023 年 1 月 28 日（土曜）第五回 協議会

・学校評価 など